



燃費テスト報告書

トップトルク・ハイパワー

さらに「燃費改善」

P.B.S パワーブーストシステム搭載



PAE-042Gシリーズ アクアG's用馬力向上・燃費改善マフラー

センターダブル出し 燃費改善率12.1%

総走行距離 154.8Km

一般道路 32.5km (21.0%)
 高速道路 96.4km (62.3%)
 山間道路 25.9km (16.7%)

アクアG's (1.500cc) パワー/トルク/音量/重量データ (PAE-042Gシリーズ 社内データ)

装着マフラー	パワー (ps)	トルク (kg・m)	7ftリッジ音量 (dB)	近接音量 (dB)	重量 (kg)
ノーマルマフラー	103.0	22.0	60.0	76.0	4.6
GANADOR P.B.Sマフラー	109.3	23.3	66.0	81.0	5.7

アクアG's (1.500cc) 燃費対比テストデータ (PAE-042Gシリーズ 社内データ)

装着マフラー	テスト日	天候	走行距離 (km)	給油量 (L)	燃費改善率
ノーマルマフラー	2014/2/13	晴れ	154.8	7.37	...
GANADOR P.B.Sマフラー	2014/2/13	晴れ	154.9	6.58	12.1% 改善

PAE-042Gシリーズ社内データ

Power : +6.3ps Torque : +1.3kg・m

P.B.S効果のデータです。

※1 P.B.S(パワーブーストシステム)の搭載は、弊社ホームページをご覧ください。



※データは、当社シャーンダイナモでの計測値です。
 ※ノーマルマフラーのデータ値は、車両個体差・気温・気圧等の条件によりメーカーカタログ公表値とは異なる場合があります。
 ※比較データ値は、全て同じ条件下で計測しています。

開発者のコメント

- アクアG's専用のマフラー設計においては、コンパクトなボディながらキャビンスペースを大きく取っているため、とても狭いマフラースペースであり、その中で性能を出すのに苦労しました。
- アクアG'sはもともと燃費が良い車であるため、各種テスト環境はかなりシビアに影響し、正確なデータを出すのに何度も何度も繰り返しテストを行いました。

●当社実走行燃費比較テスト内容

お客様ご自身で検証を行う際は、下記ポイントを参考にして正しい方法で行って下さい。

① テスト環境

(強風・雨・渋滞では中止)

悪天候の時はダメ
同じコンディションで
測定しています。

- 同じ気温・気象条件で行っています。
- 強風・雨天などの悪天候、朝夕のラッシュ時を避け、同じ条件の日に実施。
- ➡ 途中で渋滞や強風が発生したら中止し、初めからやり直します。

② 走行条件

(距離・速度を適正に保つ)

一般道や高速道路や
山道をおりませています。

- 【走行距離】当社参考データ
一般道 32.5km (約21%)
高速道路 96.4km (約62%)
山道 (登り・下り) 25.9km (約17%)
※一般道のみ走行距離が短すぎる場合、測定精度が落ちます。
- 【速度設定】当社参考データ
一般道及び山道は、交通法規に準じ、流れに合わせます。
高速道路は、法定速度にて巡航。

③ 満タン法

(同じ給油条件)

車両のタイヤ位置と
向きを同一にし、
同じ油面で給油して
います。

- 燃費対比テストは最も正確と思われる「満タン法」で行っています。
- ※給油時の注意
同一のスタンドにて、同じ車両の向き、同じタイヤ位置で停車し、同じ油面で正確に給油し計測しています。
(車載の燃費メーターでは正確に測定できませんので要注意です。)
- 走行距離 (km) ÷ 給油量 (L) = 燃費 (km/L)
➡ 満タン給油時にオドメーターをリセット。

④ 運転方法

(加速度と所要時間が同じであることを同じにして行なう)

ノーマルで50km/hまでの
加速時間が50秒の時、
ガナドールマフラーの時も
同じ50秒で加速しています。

- 同じ距離を、同じ加速、同じスピード、同じ所要時間でテストしています。
- 【良い例】例えば、ノーマルで50km/hまでの加速時間が50秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ50秒かけて加速するのが比較条件。
- 【悪い例】加速が早く、所要時間が短かった場合、アクセルを踏み込み過ぎているので比較テストになりません。
➡ 省エネ効果が得られません。

同じ条件での運転で比較した場合、12.1%改善しました。 PAE-042Gシリーズ 社内データ

表記データは上記コース及び条件で
当社の計測した結果です。